

## 地域福祉論Ⅱ

担当教員 竹中 健

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

1. 住民主体の視点に立ち、地域社会での自立生活支援のあり方や内容について説明できる。
2. 地域福祉計画の考え方や方法を理解し、地域福祉計画の必要性と内容について解説できる。
3. 福祉教育の考え方や方法を理解し、地域共生社会のあり方と必要性を説明できる。
4. 社会福祉協議会、ボランティア、NPOなどの具体的な地域福祉実践について、また、地域福祉に関わる制度や社会資源について説明できる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	住民参加の方法と意義について理解する
2	ソーシャルサポート・ネットワークの考え方を理解する
3	地域社会における社会資源の活用・調整・開発について理解する
4	福祉のまちづくりとソーシャル・アクションについて理解する
5	地域社会における福祉ニーズの把握方法と実際について学ぶ (1)
6	地域社会における福祉ニーズの把握方法と実際について学ぶ (2)
7	地域トータルケアシステムの構築と実際 (地域トータルケアシステムの考え方を理解する)
8	地域トータルケアシステムの構築と実際 (地域トータルケアシステムの展開方法を学ぶ)
9	地域トータルケアシステムの事例と専門職の研修内容について学ぶ
10	地域社会における福祉サービスの評価方法と実際 (背景と評価の考え方を理解する)
11	地域における福祉サービスの評価方法と実際 (福祉サービスの評価方法を習得する)
12	地域福祉に関するイギリスでの考え方を理解する
13	地域福祉に関するアメリカでの考え方を理解する
14	地域福祉推進のための課題と展望について考察する
15	まとめ

## 【履修上の注意事項】

地域福祉論Ⅰの理解のうえに本講義を行うため、1学期の地域福祉論Ⅰを履修しておくこと。また、講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に最低30分は学習するとともに、できれば講義の後にも講義内容の再確認を行うこと。

## 【評価方法】

講義内で実施する5回のミニテストの結果 (各回100点満点：合計500点満点) をもとに総合的に判定する (100%)。

## 【テキスト】

新・社会福祉士養成講座 9 『地域福祉の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会編集, 中央法規出版を用いる。

## 【参考文献】

- 1) 参考書については、必要に応じて授業の中で提示する。
- 2) 講義の都度、必要な資料を配布する。